

炭素繊維複合材料 オータムキャンプ2017

“CFRP 工業製品に共通する修理法の実習”

主催：秋田県生産技術研究会、秋田県非破壊検査技術研究会、
秋田県高分子材料研究会

後援：秋田県産業技術センター、株式会社羽生田鉄工所
CFRP 研究会

平成29年
10月17日(火)～19日(木)
時間 9:00～

定員：6名
参加費：48,000円
懇親会(希望者)：5,000円

8月1日受付開始!

申込者多数の場合は先着順とさせていただきます。
参加費に宿泊費、交通費は含まれておりません。
宿泊先などの手配は各自でお願いいたします。

炭素繊維プリプレグを
裁断、積層、硬化させ
炭素繊維複合材料の
製造から修理までを
学んでみませんか。



会場：
秋田県産業技術センター

〒010-1623

秋田市新屋町字砂奴寄 4-11

Tel:018-862-3414(代表)

URL [http:// www.rdc.pref.akita.jp/](http://www.rdc.pref.akita.jp/)

秋田駅から秋田港側に7km

炭素繊維強化プラスチック(CFRP)は航空宇宙産業や自動車産業のほか、大型風力発電用ブレードなどのエネルギー関連用途、各種スポーツ用品などさまざまな製品に使用されています。

最近、炭素繊維の需要が大きく伸びている航空機産業では機体構造重量の50%以上がCFRPでつくられているボーイングB787やエアバスA350XWBなどのAll Composite機が急増しています。今後、生産台数の増加に伴いCFRPの製造や修理の知識を持った航空機メンテナンス要員が必需となります。本セミナーは、将来のメンテナンス要員の育成を見据えて、CFRPの製造と修理について体系的にその知識を体得するために企画したものです。

講師には、航空宇宙産業における特殊行程に対する国際的な認証制度「Nadcap」取得に精通されている小塩国次氏を招へいしました。小塩氏は50年以上、国内外の航空機メーカーにおいて複合材の航空機生産に従事され、B777やF15の修理ライセンスをお持ちの方です。今回は実際の航空機補修で使用されている“Heatcon社のホットボンダー”を使用した3日間の充実したコースを用意いたしました。皆さまのご参加をお待ちしております。

スケジュール

	【1日目】 10月17日(火) 炭素繊維複合材料の製作	【2日目】 10月18日(水) 複合材の検査法と 修理法	【3日目】 10月19日(木) 複合材料の修理法
午前	SHOP ORDER 払い出し前の自主検査 直接材料の準備と払い出し 直材払い出し工程の自主検査 バギング用の間接材料の準備、 払い出し 間接材料払い出し工程の自主検査 検査 払い出し材料情報確認 型払い出しの自主検査 型の離型処理の確認 離型処理の自主検査 プリプレグ材料の裁断 裁断工程の自主検査 型(支給品)の準備	硬化工程の自主検査 硬化した部品の デバッグ・脱型と後加工 トリム・ドリル工程の自主検査 検査 寸法、外観、検査成績書 NDI 検査 出荷検査前の自主検査 スカーフサンディング	パッチキットの DVD 処理 パッチキットをスカーフ穴に 積層 ホットボンダーによるパッチ の加熱硬化と脱型 (加熱硬化中に炭素繊維複 合材に関する講習)
午後	プリプレグの積層作業 積層工程の自主検査 検査 積層立会い検査 バギング作業 バギング工程の自主検査 真空リークテスト オートクレーブ硬化	テンプレートと プリプレグパッチの製作	NDI 検査 硬化した修理部品の 後加工 出荷検査前の自主検査

FAXの場合は切り取らずそのままお送りください

炭素繊維複合材料オータムキャンプ2017 参加申込書

【申込期限：8月25日(金)】

団体・企業名		電話	
住所	〒		
E-mail			
お名前	部署・役職		

※ 参加申込みは、以下藤嶋宛にメールまたは FAX にて御連絡ください。

振込方法を連絡させていただきます。

申込者多数の場合は先着順とさせていただきます。満員となりましたときは何卒ご容赦ください。

＜問い合わせ先＞ 秋田県産業技術センター 素形材プロセス開発部 藤嶋 基

電話：018-862-3414 FAX：018-865-3949 E-mail：mtifuji@rdc.pref.akita.jp